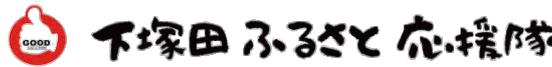


地区の皆様方へ



活動報告書

令和6年8月1日

下塚田ふるさと応援隊
会長 作本眞悟

広島レモン・徳島県上勝町（葉っぱビジネスのシステム）の視察研修等について

かねてより申請してきました「農村RMOモデル育成支援事業（令和6年度中山間地域活性化対策事業費補助金）」事業が採択され、令和6年6月18日付けで交付決定の通知書を受理しております。

本年度は、300万円事業費（7月29日口座振込）が確定しております。主な事業として、ビジョン策定（企画・調査・資料作成等）、農水省研修会（中央研修会・フォーラム参加等）、先進地視察（調査・資料収集等）、2年度～3年度に向けた実施計画の作成（調査・実証計画等）などの事業を行う事で申請してあります。

1、農村RMO中央研修会（東京）

事業のスタートとして、8月19日（月）～21日（水）「令和6年度農村RMO中央研修会」が東京で開催されます。3日間目一杯の研修スケジュールですが、当組織から3名（作本眞悟君、大野隆男君、田上克紀君）が出席予定です。

2、徳島県上勝町（葉っぱビジネスシステム）の視察研修

次の事業として、まず、徳島県上勝町（葉っぱビジネス）のシステムに関する視察研修を予定しております。テレビ等で報道されてご存知の方も多いかと思いますが、おじいちゃん、おばあちゃんがIT端末の「タブレット」を自在に使いこなしています。多い人で年間1千万以上の「葉っぱ」売り上げを記録しているおばあちゃんもいるとの事です。

「農村RMOモデル育成支援事業」をきっかけにして、地域が自走できるようにするためには、通信環境の整備が欠かせません。下塚田地区で公民館を中心にして集落全体で独自の通信環境（WiFi）整備に備えて、おじいちゃん、おばあちゃんがIT端末の「タブレット」を自在に使いこなせるようになったシステムについて視察研修を行いたいと考えております。

参加者については、現在希望者を募っている段階で未定です。日程については受け入れ先と9月10日前後（2泊3日）で調整しております。

研修受入組織：合同会社パンゲア（pangaea,LLC.）

〒771-4501 徳島県勝浦郡上勝町福原字川北4

パンゲアフィールド

(tel) 0885-46-0371

(mail) info@k-pangaea.com

(web) <http://www.k-pangaea.com>

3、瀬戸田レモン（広島レモン産地）の視察研修

徳島県上勝町（葉っぱビジネス）の視察研修の復路で、日本のレモンの殆どを生産している広島県レモン産地の視察研修を予定しております。「地域資源保全」活動として、地区内で育成されている「レモン（主にマイヤーレモン）」の将来を考察するために、視察研修を計画しております。

因みにレモンの出荷は、7月のハウスレモンから始まり、10月、11月は緑色の鮮やかなグリーンレモンとして、年末ころから5月はおなじみのイエローレモンを出荷。また、「貯蔵・包装技術の開発により、6月から8月にかけて個包装したレモンの出荷が可能」になり、年間を通じた供給体制が整っているとの報道がなされています。

国産レモンの生産量は広島県が全国一で国内の5割以上を占め、生口島と高根島の「瀬戸田レモン」と大崎下島の「大長レモン」の2つがあり、瀬戸田レモンのみの生産量は国産レモンの3割近くを占め、日本一の生産量です。

瀬戸田レモンの視察研修の主な目的は、「貯蔵・包装技術の開発により、6月から8月にかけて個包装したレモンの出荷が可能」との報道の技術研修です。但し、県独自の技術で、どの程度一般に技術情報の解放がなされているのか不明ですが、何とか手がかりがつかめたらと考えております。

参加者については、上記徳島県上勝町への研修とセットで考えておりますので、現在希望者を募っている段階で未定です。日程については受け入れ先と9月10日前後（2泊3日）で調整しております。

瀬戸田レモン JAひろしま支所 石川様 片山様
setoda-hanbai@jahirosima.or.jp
0845-27-1885 0845-27-2290
大長レモン JAひろしま大崎下島支所

4、シッテ米の栽培収穫販売の実証試験

本年度の追加予算として、100万円の事業費が内示されています。この予算については、「シッテ米」の収穫の実証試験を予定しております。「シッテ米」とは、「収穫が終了した株から新しく芽を出した稲の籾が約3ヶ月の間に結実し、収穫される2番穂」の事です。当地には、収穫できるコンバイン及び選別出来る設備が無いので都城の生産農家への作業委託となります。シッテ米には、選別という重要な工程があります。高圧の空気です選別するという特殊の機械が必要ですが、機械をリースして当地で実証する予定です。本年度は米不足で玄米の取引価格も上がってきており、新たな地域資源として「シッテ米」が活用できるのではという事で、約2町歩の「シッテ米」を収穫する予定です。対象地の所有者の方々のご協力をお願い致します。

5、スライドモアによる草刈りの実証試験

現在予定している実証試験の最後は、省力化の為に「スライドモア」による、圃場、畦畔及び農道等の草刈り実証試験を今年度と来年度行う予定にしております。

以上、7月末日での計画概要ですが、ご報告並びに上記計画について、ご意見ご希望等がございましたら、お聞かせください。

お願い

「農村RMOモデル育成支援事業」や「機構関連事業（農地中間管理機構関連農地整備事業）」その他「農業農村情報通信環境整備準備会個別支援事業」等の事業導入に伴い、行政担当や業務を伴って支援して頂く組織の方が、当地区に頻繁にお越しになり、圃場や園地に案内する事が多くなると考えられます。農作業の邪魔にならない様に留意いたしますが、皆様方のご理解とご支援をお願い致します。

